

仙台で2作品ダブル上映決定！

『うまれる』

1月29日(水) 3回上映

『ずっといっしょ。』

2月21日(金) 3回上映

うまれる命、旅立つ命……。いのちに向き合う家族を描いた、笑いと涙、愛の物語。

魂が号泣する 映画『うまれる』シリーズ



ナレーション：つるの剛士 (2010)



ナレーション：樹木希林 (2014)

2作品共に 1日3回の上映を行います

- 1) 10:00 ~※ママさんタイム
- 2) 14:00~
- 3) 18:30~

※どの回もお子様の鑑賞は可能ですが、10:00~の回はベビー・お子連れ鑑賞が出来るお互い様のママさんタイムとなります

【チケット】

1作品鑑賞 大人1,500円 / 3歳~18歳 1,000円
2作品ダブル鑑賞 大人2,800円 / 3歳~18歳 1,800円
※2歳以下膝上鑑賞無料 ※障害者手帳をお持ちの方は無料

※1作品鑑賞チケット購入後のダブル鑑賞チケットへの変更は致しかねます。

【チケットのご購入方法】

- ①チケット販売サイト Peatix から購入⇒電子チケット ⇒⇒⇒
- ②アフタースクールMIGA キッズから購入⇒現金にてチケットをお渡し
- ③サポーターさんから購入⇒現金にてチケットをお渡し



〈作品上映時間〉

うまれる 1時間 44分
ずっといっしょ。 2時間 2分

【会場】

せんだいメディアテーク
スタジオシアター



主催：一般社団法人 MIGAKU EMIGAKU



協賛：アフタースクール MIGA キッズ

お問合せ：EMIGAKU

担当 板橋

Tel 022-797-7416

mail info@emigaku.com

子宮出身のすべての人へ贈る感動のドキュメント

何もない人生なんてない。誰もが向き合わなければならない課題を持って生きている。。。

僕はただ、両親と仲直りがしたくて、この映画をつくったのかもしれない。

自分は愛されているんだろうか……。

物心ついた時から、僕はそう思っていました。4歳年下の弟が体が弱く産まれてきたことから、両親は弟のことで精一杯。僕は親の愛情を知らずに育った気がしていました。そんなある日、「赤ちゃんは雲の上で親を選んで産まれてくる」という胎内記憶の話を知りました。自分は好きでうまれてきたんじゃない、親は選べない、と思ってきた僕は、非科学的な話とは思いつつ、心から感動したのです。

「うまれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで僕自身、両親との関係を築き直せるかもしれない。

それから、何十組のご家族を取材・撮影させていただきましたが「うまれる」ことを知れば知るほど、その奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

うまれてくること、生きることは、まさに奇跡の連続。そして、初めて、両親に「産んでくれてありがとう」と伝えることができました。

奇跡的に生まれてきた小さいのち。僕は良き父親になれるのだろうか？

誕生をテーマにした1作目『うまれる』（2010年）の公開と同時に娘が生まれ、小さく愛おしい命を目の前にした僕は、率直に「いい親になりたい。

家族と幸せに一生を過ごしたい。」と思いました。でも、それは自分が期待するほど簡単な作業ではないとすぐに気づかされました。

1作目の映画の製作を通じて、親との関係を改善したもの、長年、親との葛藤を抱えてきたが故の僕の「家族の肖像」が、あまり理想的なものではなかった事と関係しているのかもしれない。

それから、4年あまり。カメラを片手に様々な家族を追いかけて完成した『ずっと、いっしょ。』は、

家族とは、父親とは、幸せとは、という様々な不安、責任、そして希望を追いかけた僕自身の心の記録です。

2つの作品を通じて、「命の尊さ」「家族の絆」を全身で感じていただけると嬉しいです。



企画・監督・撮影 豪田トモ

『うまれる』（2010）



いのちの神秘、出産への期待と不安、誕生の喜び

両親の不仲や虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦、
出産予定日に我が子を失った夫婦、子どもを望んだものの授からない
人生を受け入れた夫婦、完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。

命を見つめる4組の夫婦の物語を通して、自分たちが生まれてきた意味、
命の大切さ、そして「生きる」ことを考えるドキュメンタリー映画。

2010年の劇場公開後、40万人以上の方にご覧いただいております。



子どもたちの出産に立ち会い、
命の大切さを実感し、
育児休暇で家族の絆も深まりました。
自分自身が感じてきた経験をもとに、
ナレーションに挑戦させていただきました。
全ての方に、命の大切さを感じてほしい映画です。
ここにいる奇跡 出会えた奇跡 うまれる奇跡
すべての命のミラクルに改めて感謝。

ナレーション つるの剛士

映画を見終わり、隣にいた娘たちを抱きしめた。
素敵な映画が生まれてくれて、
ありがとう

久保純子（フリーアナウンサー）

『ずっと、いっしょ。』（2014）



家族の絆とは？家族と共に生きることは？

血のつながりのない息子を育てる事になった父親、
長年連れ添った妻に先立たれた男性、虎ちゃんのその後の苦境と成長。
それぞれの課題に「向き合う」3組の家族の物語。

「家族の絆」ってなんでしょう？

家族とともに生きるってどういうことなのでしょう？

さらに「家族の絆」にフォーカスした『うまれる』シリーズ第二章。



家族とは、大変な時も、喜びの時もある。
人間はそういうものですが、
問題を抱えながら生き続けていくものだと思えます。
本作にはたくさんのメッセージが詰まっています。
観る人には、それを「心で」感じて
欲しいと思います。

ナレーション 樹木希林

家族とはずっと一緒にいることは出来ない。
でも、全力で命をかけて愛することで、
ずっと一緒にいれるんだ。
鈴木おさむ（放送作家）

製作年：2010年 上映時間：1時間44分 スクリーン・サイズ：ピタサイズ
企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山朋子 パースコーディネーター：大葉ナナコ
主題歌：『オメデトウ feat. KOHEI JAPAN』つるの剛士（PONY CANYON INC.）

製作年：2014年 上映時間：2時間2分 スクリーン・サイズ：ピタサイズ
企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山朋子
主題歌：『ずっと、いっしょ。』河波浩平

“うまれること” “生きていくこと”がテーマとなったドキュメンタリー映画。
重いテーマではありますが、それぞれの “うまれたこと” “生きていくこと”が深く愛おしく思え、
また一つ違う世界が開けていくような気持ちがうまれていく、そんな映画だと思っています。

たくさんの方に届けたい映画です

— EMIGAKU —